

《歴史と文化の活用（メルヘンチャイムの継承）》

5. ご愛顧いただいているお客様へ

私たち新天町は、戦後の創業以来80年にわたり福岡・天神の地で営業し、歴史を紡いで参りました。これもひとえに、世代を超えたお客様からの長年にわたるご愛顧の賜物であると新天町一同、感謝を申し上げます。

建替え期間中は、一旦、皆様に愛されたこの地を離れ各店舗で営業を続けて参りますが、受け継ぐべきものを大切にしながら、皆様に親しんでお楽しみいただける商店街として戻ってまいります。

再びこの地で皆様とお会いできることを心待ちにしております。

新たな新天町に向けて、今後とも皆様の変わらぬご支援とご協力を、心よりお願い申し上げます。

新天町商店街商業協同組合 理事長 檜崎 昌太

【参考資料 / 再開発概要】

現時点における事業概要（福岡市HPより抜粋）※変更となる可能性あり

【市街地再開発事業】

◆ 新天町街区(西街区)

- ・ 建築敷地面積：約5,900㎡ ・ 建築面積：約4,900㎡
- ・ 延べ面積：約88,000㎡
- ・ 主要用途：店舗、事務所、文化・情報発信 等
(例：地域文化ミュージアム《祭り、歴史・文化発信》)
- ・ 事業者：新天町商店街商業協同組合、(株)新天町商店街公社

◆ パルコ街区(東街区)

- ・ 建築敷地面積：約7,900㎡ ・ 建築面積：約7,400㎡
- ・ 延べ面積：約138,000㎡
- ・ 主要用途：店舗、事務所、文化・情報発信・ホテル等施設 等
(例：ライブハウス、ギャラリー、ミュージアム)
- ・ 事業者：(株)パルコ、J.フロント都市開発(株)、新天町商店街商業協同組合
(株)新天町商店街公社、西日本鉄道(株)、(株)三井住友銀行

【地下通路】

- ・ 延長(幅員)：約190m(6m)
- ・ 事業者：新天町街区およびパルコ街区による共同整備・管理



【参考資料 / 新天町の歴史】

1946年

新天町 誕生

1946年秋に創業した新天町は、大売り出しや演芸、福引などの開店祭りを開催し、復興を喜ぶ市民で賑わった。

1947年

新天町が尽力
「博多どんたく」復活

1947年の「博多どんたく」復活には新天町が尽力した。前例のない大規模などんたく隊で参加し、市民を大いに沸かせた。

1949年

新天町へ
飾り山誕生

1949年、新天町は伝統の壁を越え、福岡部で初となる山笠の飾り山を立てて新しい歴史を刻んだ。

1950年

西日本初の
アーケード完成

1950年の大改装で新天町に西日本初のアーケードが完成した。全天候型の商店街に。「降っても照っても新天町」のキャッチフレーズ誕生。

1978年

新天町大改装

1978年、新天町は約4億円で大改装を行った。冷暖房完備の通路や欧州風の外観でイメージを一新し、快適な街へと生まれ変わった。

1981年

メルヘンチャイム
完成

1981年の創業35周年記念に、新天町の顔となる巨大なからくり時計が完成。美しい鐘の音で市民を楽しませた。

1986年

新天町名物
子ども山笠誕生

1986年、天神界限や通勤族の子どもに山笠を体験させたいと、新天町の若手が自ら修業を重ね、子ども山笠を実現させた。

2008年

サンドーム完成

2008年、メルヘン通りの上空へサンドームを建設。名実ともに降っても照っても新天町を実現。全天候型でどんたく名物総踊りの会場にも。

2026年

創業80周年 みらいへ

2026年、未来に向けた商店街に生まれ変わるために建替え推進中